

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
医療コミュニケーション論		BNSB3L18	20305	2前	1(30)	必修
担当教員	平 英美					
概要	看護において、コミュニケーション・スキルに習熟することは、看護師が患者との信頼関係を構築して療養生活の支援者となる上できわめて重要である。授業では、医療コミュニケーションと看護コミュニケーションの特徴を分析するための代表的なコミュニケーション理論であるRIASや会話分析を理解し応用できるようになることを目的にしている。					
学修目標	1) 「社会言語学的アプローチ」、「(RIAS などの)機能主義的アプローチ」「会話分析」などのコミュニケーション理論を説明できる。 2) それぞれのアプローチを使って音声や動画を分析する方法を説明できる。 3) 医療コミュニケーションや看護コミュニケーションの特質について自分の考えを述べることができる。					
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		
1	オリエンテーション					
2	トランスクリプトについて			日常会話の録音とトランスクリプト		
3	会話分析					
4	RIASとカテゴリーの特徴その1			カテゴリーを覚える		
5	RIASとカテゴリーの特徴その2					
6	コーディングと集計について 小テスト(1)			DATA①のコーディング(7で提出)		
7	医師-患者コミュニケーションその1					
8	医師-患者コミュニケーションその2			DATA②のコーディング(9で提出)		
9	看護師-患者コミュニケーション①その1					
10	看護師-患者コミュニケーション①その2			DATA③のコーディング(11で提出)		
11	看護師-患者コミュニケーション②その1					
12	看護師-患者コミュニケーション②その2					
13	データ処理(補足)					
14	RIASをめぐる理論的問題					
15	まとめと小テスト					
使用テキスト	野呂幾久子、阿部恵子、石川ひろの『医療コミュニケーション分析の方法』三恵社					
参考図書						
成績評価基準	トランスクリプト等の提出物と小テスト50%、定期試験50%					